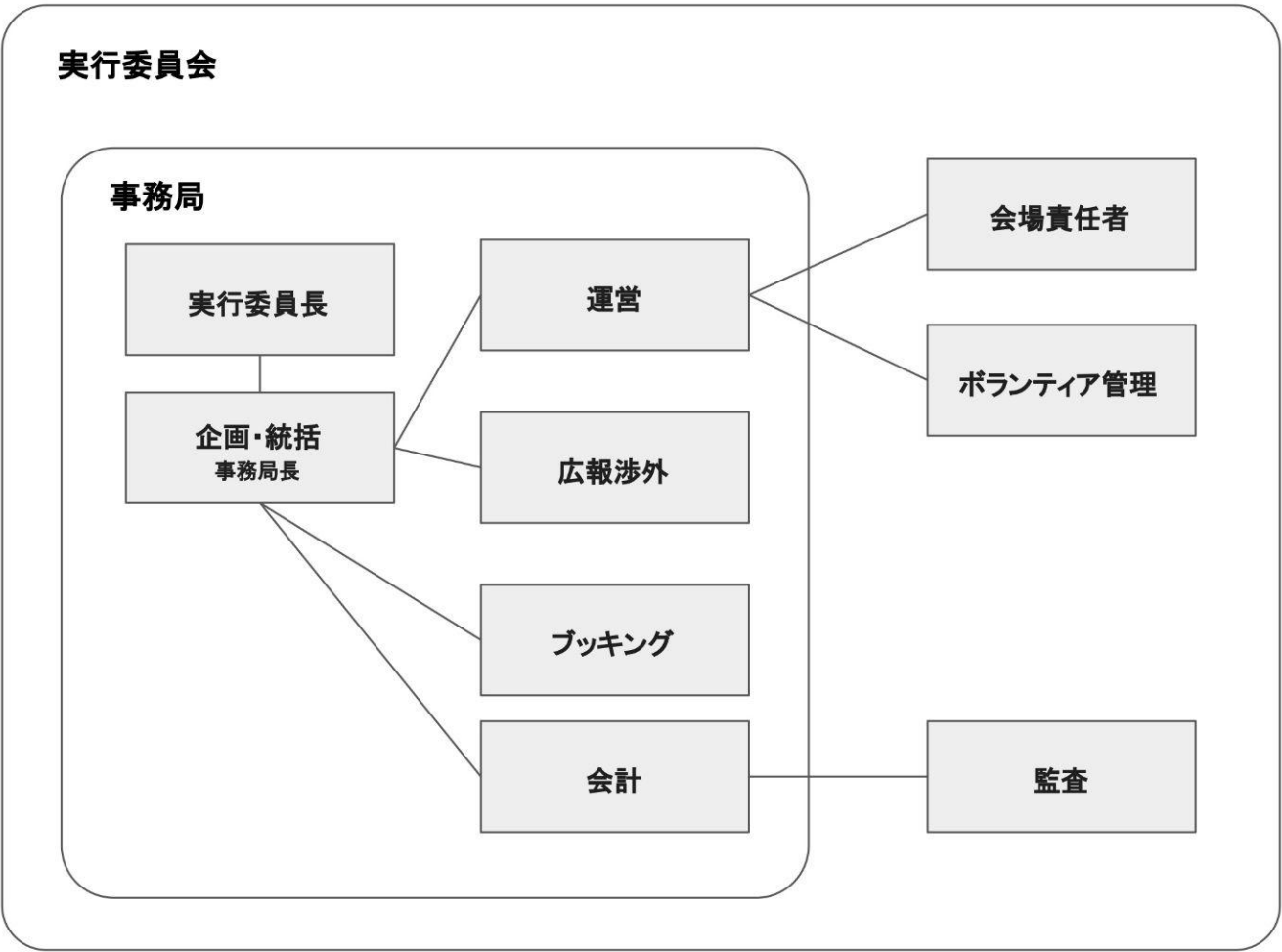


阿佐谷ジャズストリート:次世代型組織・運営体制のご提案

～伝統を継承し、街の力を最大化するための「仕組み」づくり～

1. 新しい組織体制案:事務局の5つの機能

事務局という大きな枠組みの中に、実務を担う「3つの執行部」と、専門性を発揮する「2つの専門部」を配置したいと考えます。



2. 各部門案の役割と責任範囲

■ 執行部(実務・進行を担う3部署) ■ 専門部(独立した専門職)

- ブッキング(目利きと関係構築)
 - 出演者の選定、交渉、音楽的なクオリティの担保。
- 会計(透明性と統制)
 - 予算管理、現金の統制、収支報告。組織の信頼性を守る番人。

部署名 (仮称)	役割(ミッション)	主な業務内容
企画・統括	全体の司令塔(整合性と締切の責任)	・年間の工程設計(ロードマップ)と進捗管理 ・「公式確定情報」の集約とマスターデータ管理 ・プレスリリースの作成、戦略的な広報手配
運営部	内側のリソース管理 (会場・ボランティア)	・会場責任者: 従来の概念を踏襲した会場管理 ・ボランティア管理: 配置計画、マニュアル、当日案内 ・内部連絡: 委員の出欠管理、日程調整、情報共有
広報渉外部	地域との接点・拡散 (足とネットの広報)	・地域コミュニケーション: 企業・店舗・商店街との対話 ・広報物展開: チラシ・ポスターの配布、設置相談 ・情報拡散: SNS運用、リリース情報の周知拡散

■ 専門部(独立した専門職)

- ブッキング(目利きと関係構築)
 - 出演者の選定、交渉、音楽的なクオリティの担保。
- 会計(透明性と統制)
 - 予算管理、現金の統制、収支報告。組織の信頼性を守る番人。

3. 実行委員会の新しい運用方針(案)

実行委員会を「報告を聴く場」から、事務局の準備を「街の実行力に繋げる場」へとシフトすることを目指します。

①【事前共有】進捗報告を1週間前にWebで完了させる方針

- 事務局(執行部)が情報を整理し、開催1週間前までにWeb上で共有する運用を目指します。
- 会議当日は「一からの状況説明(読み上げ)」は行わない方針です。事前に確認した上での「不明点の解消」や「対策の議論」からスタートします。
- ペーパーレス化: 経費と事務局の作業時間を削減するため、資料の印刷・配布は行わない方針を提案します。資料は各自Webで確認し、紙が必要な方は各自での印刷(自費)をお願いする形を検討しています。

②【アジェンダ形式】「判断が必要なこと」を議題にする方針

- 会議では「順調な報告」よりも、「皆様の知恵と判断が必要な課題」に時間を集中させます。
- 事務局から提示された議題に対し、ベテランの皆様の経験に基づいた「最善の判断」をいただく場を目指します。

③【タスクの確定】「誰がいつまでに」をその場で決める方針

- 議論を「アクション」に繋げるため、会議の最後に決定事項に対する「担当」と「期限」を議事録に明記し、全員で再確認を行う運用を目指します。